



2019.7
July
夏号

TAKE FREE

There is no longer big love than this

これ以上大きな愛はない

赤坂教会 牧師
姫井 雅夫



2019年と2020年は、日本にとって記念となるスポーツの年です。

2019年はラグビーのワールド・カップが開催され、2020年はオリンピック・パラリンピックが開催されます。ラグビーの場合は全国12ヶ所で試合が行われます。普段からスタジアムが整えられ、使用されていれば問題ないのですが、普段めったに使用しないのですが、世界的な大会ですからと、地元で招聘しようとする。地元では地域の活性化のために有効と考えます。でも普段あまり使用されていないスタジアムですと、改築し、大きな大会ですから客席も増やさなければなりません。費用は莫大なものになります。

これを機会に多くの試合や大会があり、改築したスタジアムが頻繁に用いられるのであれば、大きな負債も徐々に返済できるのですが、そうでなければ、税金を上げて賄わなければならなくなります。

そんなこともあってでしょう、地元の住民から苦情が出ているようです。しかも地元で行われるゲームは、初戦ぐらいで、準決勝や決勝戦は都会のスタジアムになります。難しい課題です。

キリスト教の宣教を考えると、一人でも多くの人に神の愛の福音をお伝えしたいと願います。大きな大会を企画すると、会場費、広報費、音楽ゲストの謝礼などなど出費が大きくなります。私も音楽コンテストの委員になり、企画から実施まで関わりを持ち、開催しました。3年間行ったのですが、費用的には赤字になりました。結局赤字は委員が負担しようと言う事になりました。

現実には難しい課題が出てきます。でもイエスが払ってくださった犠牲に比べようがありません。

「友のために命を捨てる、これ以上大きな愛はない」(ヨハネ 15:13) 十字架にかかれたのは数時間のことです。そこにいたるまでの33年間も「命を捨てる」献身の時でした。大きな、大きな愛です。

聖書用語解説 本城 通一

*信仰

神に対して全人格的に信頼すること。信仰は神の真実に基づき、聖書における啓示を真実なものとして受け入れることであるが、特に救いのためには、キリストの十字架の死が自分の罪の贖いのためであった事を信じる必要がある。信仰は、福音を知るといった知的面とその福音が真実で、自分にとって必要であると同意する感情的面とその福音を信じ受け入れるという決断する意志の面から成り立っている。(ルカ 7:10)

*救い

キリストの十字架による贖いを信じる者が、神の恵みによって罪の刑罰を免れ、神との正しい関係を回復すること。救われた者は、罪の刑罰である死と滅びを免れるだけでなく、神からの永遠の命を与えられ、神の国に入ることが出来る。救いは現在だけでなく、未来にも及び、また霊だけでなく、肉体にも及ぶ。(使徒 4:12)